

2018年度第5回 ヒトゲノム研究倫理 を考える会



—新しいゲノム医療の中で何が必要か—

日時：2019年1月16日（水）14：00～17：00（13：30開場）

会場：東京大学医科学研究所 1号館講堂

東京都港区白金台4-6-1

URL: <http://www.ims.u-tokyo.ac.jp/imsut/jp/access/access/>

プログラム：

14：00～14：10 開会の挨拶

武藤 香織（東京大学医科学研究所）

14：10～14：30 保険診療として行われるがん遺伝子パネル検査

河野 隆志（国立がん研究センター）

14：30～14：50 がん遺伝子パネル検査：研究から診療への

移行・混在に伴う倫理的課題 武藤 香織（東京大学医科学研究所）

14：50～15：10 患者からみる今後の課題と対策

太宰 牧子（（一社）ゲノム医療当事者団体連合会）

15：10～15：30 生命保険とゲノム医療

浦中 麻由良（（一社）生命保険協会 契約サービス委員会）

15：30～15：50 総合的な政策のあり方

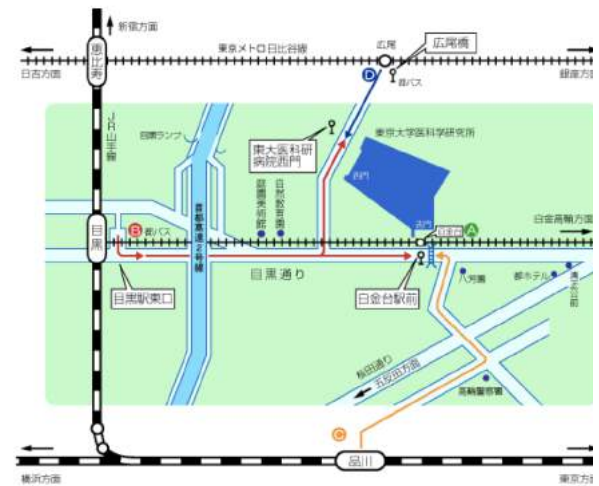
薬師寺 みちよ（予定）（参議院議員）

（休憩10分間）

16：00～16：10 指定発言

加藤 和人（大阪大学大学院医学系研究科）

16：10～17：00 質疑応答・総合討論



対象：大学・研究機関の倫理審査関係者、研究者等 定員・参加費：50名・無料

参加登録：下記のGSユニットウェブサイトから参加登録をお願いします。

<https://www.genomics-society.jp/news/event/post-20190116.php/>

主催者：文部科学省科学研究費新学術領域「先進ゲノム支援」ゲノム科学と社会ユニット(GSユニット)

協力：東京大学ゲノム医科学研究機構

お問い合わせ先：大阪大学大学院医学系研究科医の倫理と公共政策学

06-6879-3688 workshop@eth.med.osaka-u.ac.jp

